

No.158

令和2年4月27日

【発行】

豊橋市立青陵中学校 校長室

t-asai-hideo@toyohashi.ed.jp

Rising Sun



“この道”を信じて前へ。

世の中「たら」「れば」を言い出したらきりはありませんが、ここではあえて…。

「新型コロナウイルス感染症の拡大がなかったら…」

TOKYO2020 の開幕を3か月後に控え、代表選手の奮闘ぶりやメダル獲得予想など、連日スポーツニュースは大盛り上がり。否応なしに私たちの気分や期待は、右肩上がりが高揚していく一方、だったはず。活躍が期待される選手の密着取材などの特番が生まれ、それまで知らなかった競技の詳細や裏側、選手の素顔まで垣間見ることができていた、かも…。

「TOKO2020 開催に向けて、準備が進んでいけば…」

前回 1964 年開催の東京オリンピックで採用された「オリンピックマーチ」などを作曲したことで知られる古関裕而氏(豊橋市役所の電話の保留音として使用されている「太平洋の潮騒を～」で始まる豊橋市歌の作曲者も古関裕而氏です)をモデルにした NHK 朝の連続テレビ小説「エール」がもっとも注目されていたかもしれません。ドラマでは音として描かれている古関裕而氏の妻金子の故郷である豊橋の知名度も更に更に UP! していたかも…。

新聞によりますと、第1回はこども未来館ココニコでパブリックビューイングが予定されていたそうです。「一人パブリックビューイング」をしていたトヨッキーの後ろ姿がとっても寂しげでした。もっとも、20%台の高視聴率をキープし続けているのは、在宅勤務やテレワークなどによって、多くの人が外出せずに自宅にいるおかげ…かもしれません。

「たら」「れば」はこれくらいにして。新型コロナウイルス感染拡大によって、先が見通せない状況が続いています。期限が明らかであれば、自粛も我慢も続くのでしょうか、現状では誰もそれを断言することはできません。不安や不満は募っていく一方です。

こうした状況の中、SNS などネット上では、批判の応酬が止まらないような状態が続いているそうです。

某有名なミュージシャン Y 氏が、自らパーソナリティーを務めるラジオ番組の冒頭「今、いちばん重要なのは政治的なものを乗り越えて、団結ではないかと思えます。政治的対立を一時休戦して、いかにこのウィルスと戦うかを、国民のみんなで、また世界中のみんな

で助け合って考えていかなければならないときです。(中略) 冷静さと寛容さがなにより大事です。正確な判断は冷静さでしか生まれません。我々は我々ができることをしましょう」と、それこそ冷静な口調で語っていました。たまたま車を運転しながら Y 氏からのメッセージを聴いていましたので、「やるなあ Y 氏。いいこと言うなあ」と単純に思っていました。しかし、この Y 氏のメッセージに対しても批判めいたコメントを発信している方がいらっしゃるということを知って、「批判の応酬」はどこまで続いていくのか心配になってしまいました。ウィルス感染はもちろん最大の心配事ですが、日本人の心のありようが分断されていってしまうのでは、というのは心配のし過ぎでしょうか。

ともかく、不安や不満、鬱憤は増えこそすれ、しばらくは解消されそうにありません。ですが、政府や専門者会議からの提案、提言を信じて、この道を進んでいくしか方法はないように思います。「人との接触を8割減らす、10のポイント」もそのうちの一つです。

人との接触を 8 割減らす、10 のポイント 参考資料 1

緊急事態宣言の中、誰もが感染するリスク、誰でも感染させるリスクがあります。新型コロナウイルス感染症から、あなたと身近な人の命を守るよう、日常生活を見直してみましょう。

1 ビデオ通話で オンライン帰省	2 スーパーは1人 または少人数で すいている時間に	3 ジョギングは 少人数で 公園はすいた時間、 場所を選ぶ
4 待てる買い物は 通販で	5 飲み会は オンラインで	6 診療は遠隔診療 定期受診は間隔を調整
7 筋トレやヨガは 自宅で動画を活用	8 飲食は 持ち帰り、 宅配も	9 仕事は在宅勤務 通勤は医療・インフラ・ 福祉など社会機能維持 のために
10 会話は マスクをつけて	3つの密を 避けましょう 1. 換気の悪い密閉空間 2. 多数が集まる密集場所 3. 間近で会話や発声をする密接場面	

手洗い・
咳エチケット・
換気や、健康管理
も、同様に重要です。